

特集

予算 1 万円の使いみち

※下の図表は、平成18年度一般会計予算を1万円に換算して、予算科目別に表したものです

福祉サービスの提供 4,111円	教育と文化・スポーツ振興 1,518円	まちの整備と道路・公園・自転車駐車場の管理など 1,195円
市政運営とコミュニティ 984円	健康と環境を守る 903円	市債(借金)の元金、利子の償還 625円
消防・防災 417円	市議会の運営 83円	その他(農業・商工業振興・基金積み立てほか) 164円

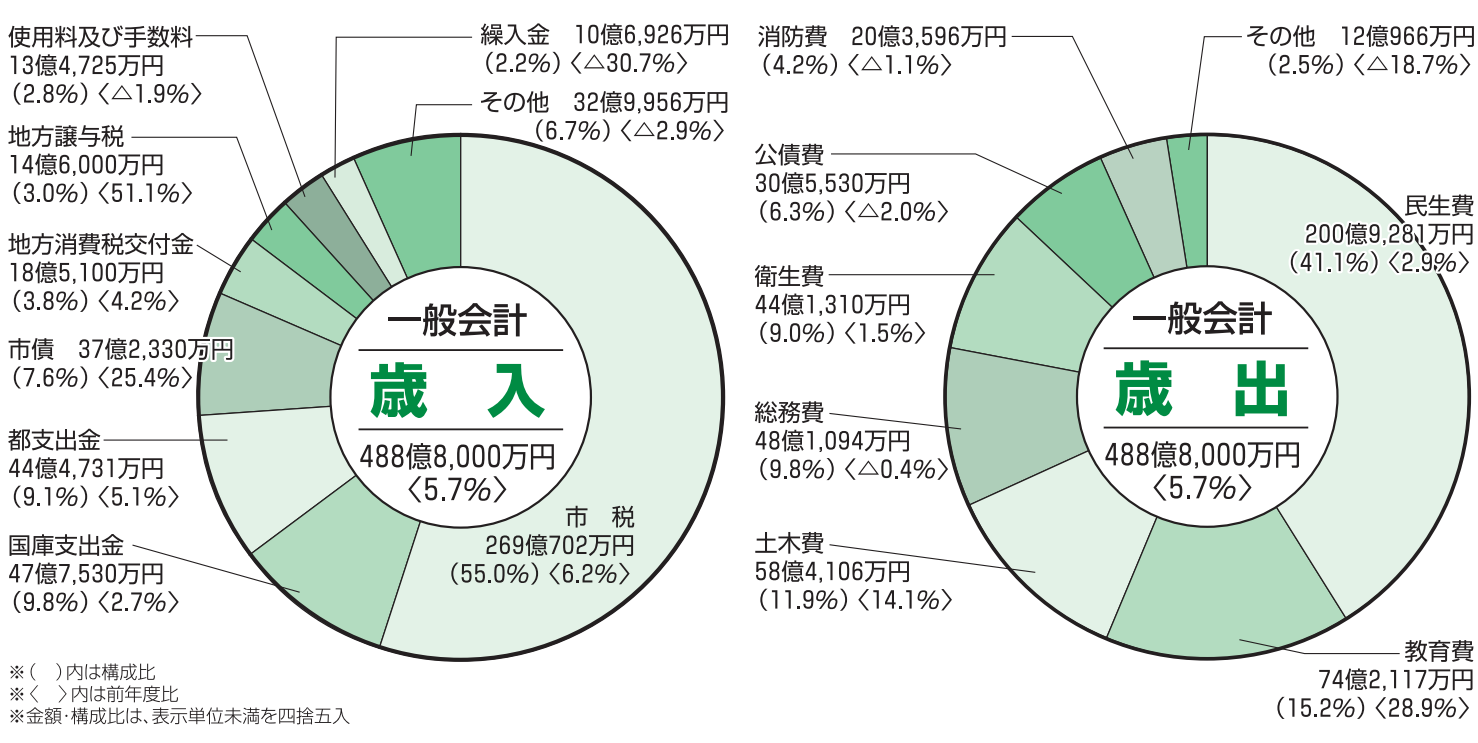
●平成18年度 特別会計別予算額

会 計 名	予 算 額	対前年比
国 民 健 康 保 険	140億8,046万円	10.9%
土地区画整理事業	23億8,848万円	△39.6%
下 水 道 事 業	57億1,203万円	1.9%
受 託 水 道 事 業	13億1,160万円	△18.1%
老 人 保 健	98億7,969万円	△0.6%
介 護 保 険	70億2,587万円	10.0%
市 立 病 院 事 業	80億9,803万円	3.2%
計	484億9,616万円	1.0%

特別会計の概要

前年度に比べ1.0%増額4億6千744万円)となりました。これは国民健康保険特別会計や介護保険特別会計などの増額によるものです。

土地区画整理事業特別会計は、区画整理事業用地取得の減により39.6%減額(15億6千423万円)となっています。



一般会計予算主な増減

歳 入	歳 出
市税 6.2%増 景気の回復がようやく個人所得に反映し始めたことや、定率減税の引き下げなどの税制改正による個人市民税の伸びによるものです。	地方譲与税 51.1%増 三位一体改革による税源移譲で、所得譲与税が大幅な増額となったことによるものです。
民生費 2.9%増 ・児童手当 1億9,650万円増 ・国民健康保険特別会計繰入金 1億2,659万円増	国庫支出金 2.7%増 小・中学校の施設整備や道路整備の伸びによるものです。
	教育費 28.9%増 ・学校ICT教育の実施 2億5,365万円皆増 ・小・中学校の耐震化 14億4,670万円皆増

市の決算額は、会計年度終了後にその年度に属する現金収支の整理を行うことができる出納の整理期間(4月1日～5月31日)を経て、5月31日に確定します。平成17年度決算の内容は11月の広報で公表する予定です。

問合せ先：財政課
市町村財政比較分析表(平成16年度)は東京都総務局行政部のホームページ(<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/05gy>)

特別会計

特別会計では、22億5千826万円増額の505億5千737万円となりました。

各会計別予算の執行状況は、下表のとおりです。

平成17年度下半期 市の財政状況を公表

ousei/gyouseizaisei/kessan/hikaku/index.htm)をご覧ください。

●平成17年度下半期 各会計別予算執行状況（平成18年 3 月31日現在）

会 計 名		予 算 額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一 般 会 計		493億3,913万円	468億5,301万円	95.0%	428億6,796万円	86.9%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	136億2,273万円	124億3,656万円	91.3%	121億9,236万円	89.5%
	区 画 整 理 事 業	44億2,472万円	31億8,000万円	71.9%	22億6,317万円	51.1%
	下 水 道 事 業	53億8,232万円	41億1,373万円	76.4%	46億3,866万円	86.2%
	受 託 水 道 事 業	14億6,341万円	14億3,642万円	98.2%	12億5,511万円	85.8%
	老 人 保 健	103億4,436万円	96億2,013万円	93.0%	95億672万円	91.9%
	介 護 保 険	74億4,693万円	69億7,692万円	93.7%	67億1,833万円	90.2%
	市立病院事業（収入）	77億3,658万円	59億5,287万円	76.9%	—	—
	市立病院事業（支出）	78億7,290万円	—	—	67億8,460万円	86.2%

※一般会計には繰越明許費を含む

●市有財産

(平成18年 3月31日現在)

土 地		158万 1 千平方メートル
建 物		32万 9 千平方メートル
基 金	財 政 調 整 基 金	22億4,171万円
	職 員 退 職 手 当 基 金	15億3,945万円
	公 共 施 設 建 設 基 金	13億4,737万円
	環 境 緑 化 基 金	11億1,956万円
	学 校 施 設 整 備 基 金	10億1,152万円
	土地区画整理事業基金	7 億988万円
	市民体育施設整備基金	6 億7,044万円
	減 債 基 金	2 億 2 万円
	平 和 事 業 基 金	1 億円
	バリアフリー事業推進基金	4,932万円
金	新選組関連資料収集基金	1,400万円
	合 計	90億327万円

●市債の状況 (平成18年3月31日現在)

	16年度末残高	17年度借入金	17年度元金償還額	17年度末残高
一 般 会 計	317億9,809万円	20億4,600万円	25億2,793万円	313億1,617万円
下水道事業特別会計	364億4,684万円	0円	14億7,764万円	349億6,920万円
病院事業会計	110億9,670万円	0円	3億6,761万円	107億2,909万円
区画整理事業特別会計	34億4,400万円	19億2,700万円	0円	53億7,100万円
合 計	827億8,563万円	39億7,300万円	43億7,317万円	823億8,546万円

※金額は、各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがあります



1 参画と協働のまちづくり15億7,834万円

- 新 コンビニ収納導入による納税機会の利便性向上
- ・国民健康保険税・介護保険料に導入
- ・平成19年度からの市民税・固定資産税への導入準備
- 新 七生支所移転の準備
- 新 広域連携による証明書取得の利便性の向上



2 日野人・日野文化を育てるまちづくり 6億4,410万円

- 新 (仮称)市民スポーツセンター建設に向けた取り組み
- 新 図書館サービスの向上・開館時間延長
- 新 学校給食の充実と食育の推進
- 新 特別支援教育の推進

3 ふれあいのあるまちづくり6,443万円

- 新 平山城址公園駅周辺まちづくり事業

4 対等の立場で心のかようまちづくり13億3,573万円

- 新「シルバー日野人安心いきいきプラン」の推進による高齢者支援事業
- ・「長寿を楽しく・美しく」プランの推進(高齢者訪問指導事業等)
- ・24時間電話相談など高齢者見守り支援ネットワークの構築
- ・特別養護老人ホームあすなるの開設
- ・介護予防の拠点として「地域包括支援センター」を設置
- 新「障害者保健福祉ひの5か年プラン」の推進による障害者支援事業
- ・知的障害者通所授産・更生施設として社会福祉法人「夢ふうせん」の開設支援(平成19年度開設)
- ・「(仮称)発達支援センター」、「(仮称)生活・就労支援センター」開設の検討
- 新 日野市男女平等行動計画の推進



▲特別養護老人ホームあすなる

5 だれもが健やかでいられるまちづくり3,880万円

- 新 育児不安を抱える保護者のグループ支援
- 新 高齢者寝たきりゼロに向けた取り組み
- ・老人クラブ活動の活発化

6 住みやすいまちづくり26億3,234万円

- 新「日野市まちづくり条例」による計画的なまちづくり
- 新 日野駅前通り及び高幡不動駅北口の道路整備・店舗等のバリアフリー化
- 新 道路脇いこいの場・浅川多摩川遊歩道の整備
- ・ベンチ・ポケットパークの設置
- ・ウォーキングコース(堤防通り)の整備



▲バリアフリー化した日野駅前

7 気軽に出かけられるまちづくり 1億4,075万円

- 新 身近な生活道路の整備
- 新 特徴ある公園づくり・公園のバリアフリー化
- 新 市内連絡バス・丘陵地ワゴンタクシーの充実

8 自然と人が共生するまちづくり 3億4,945万円

- 新 ごみ焼却処理施設・し尿処理施設の整備など
- 新 環境情報センターの充実
- 新 ごみゼロ社会に向けた取り組み
- ・レジ袋の削減とマイバッグ運動の実施
- ・生ごみ処理機器補助
- ・ごみゼロプランの推進



9 個性と魅力と活気のあるまちづくり13億7,730万円

- 新 都市計画道路の整備
- ・国道東京八王子線の早期事業展開
- 新 日野駅・豊田駅・高幡不動駅周辺のまちづくり
- 新 商業振興プラン(地区別)の策定
- 新 就業支援
- ・アクティブシニア就業支援
- ・ハローワーク八王子地域職業相談室の誘致
- 新 住宅リフォーム助成制度の実施
- 新 観光基本計画等による観光事業の推進



▲工事が進む高幡不動駅